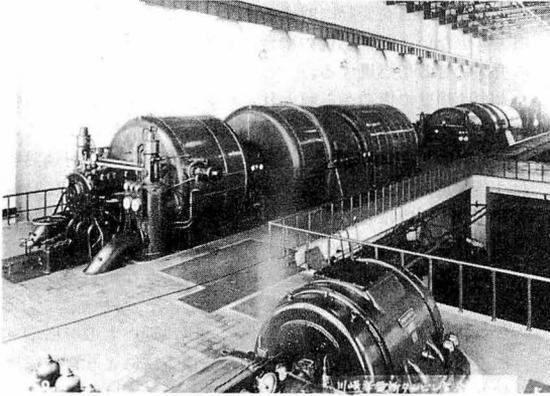


## カルダンだい

とこれに応じた押込風量を加減するが、燃料の質・湿分等によって燃焼状態が変わるので燃焼ガス中のCO<sub>2</sub>による調整または光電管応用によるガス濃度をとるもの等がある。

6 蒸気タービン、発電機、調速機、復水器 \*タービン発電機



2. 同所発電室 (25,000 KW 2台, 20,000 KW 1台)

### 7 煙道、煙突、集塵装置

煙道は抵抗の少ない形とし通風量加減のためのダンパをおき、灰塵をとるため底部にホッパを設ける。煙突は吸引通風機を備える所では余り高さを要しないが、通常煤煙防止のため高いのが要求される。微粉炭燃焼の場合は微細な灰塵が多量飛び出すので、これを防ぐため水洗式、遠心分離を利用したサイクロン式、直流 6-7 万ボルトの電極間で帯電捕集される電気式(コトレル式)等の集塵器が使用される。(錦織義純)

カルダンだいしゃ カルダン台車 カルダン駆動軸を用いた車両の台車をいう。カルダン駆動軸とは2組の自在継手、その他可撓(かとう)する軸を用いて動力を伝達させる駆動軸である。電車の場合この駆動軸の使用により輪軸からばねによって支持されている台車枠(だいしゃわく)に駆動電動機を装架し、減速歯車を介して可撓的に輪軸を駆動することができる。すなわち駆動電動機重量はばね上となるため、従来の釣掛式のようにその重量の半分が直接車軸にかかっているものよりばね下重量が軽減され、防振上効果がある。現在台車枠に駆動電動機を取付ける場合、その軸が輪軸と平行な場合と直角な場合の2種類が広く用いられている。(秀平一夫)

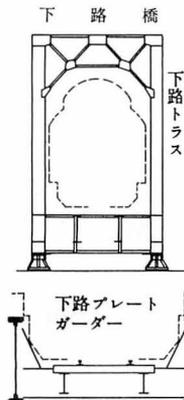
かるきょう 下路橋 (英) through bridge 橋梁(きょうりょう)の路面または軌道を支える床組が、橋桁(けた)の下部に配置されているもの。

図は下路橋のプレートガーダーおよびトラスの断面を示したものである。

下路プレートガーダーにおいては、上路式より桁重量が大である。

下路プレートガーダーは路面または軌条面より桁下端までの距離を小さとすることができるので、桁下空頭の小さな場合に通常用いられる。トラスにおいては下路型は上路型より一般に有利であるので、通常多く用いられる。(菊池洋一)

がわあなつきコック 側穴付コック (英) cut out cock with side vent



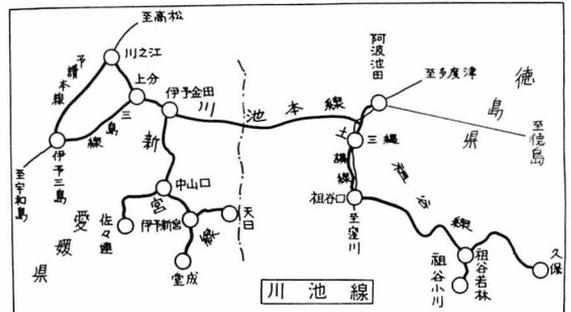
コック体の側面に排気用の穴を設け、コックの締切位置で接続管路を締切ると同時にこの穴を接続管のいずれか一方に通じ、その側を大気に連絡するようにした一種の三方コック。戸閉機械用締切コックのように、締切った場合空気源の方を締切り、機器側を排気する必要がある箇所に使用する。

右勝手と左勝手の2種がある。コック体銜物を両勝手共通するため国鉄ではこの排気穴の向きだけによって左右の勝手を区別する。すなわちコックを締切った場合ハンドルの向いてない方向に排気用穴があるものを右勝手としている。この場合はコックの開き位置におけるハンドルの向いていない側が排気穴を通じて大気と連絡する。左勝手のものは排気穴が右勝手の場合の対称の位置となっており側穴による大気への連絡が逆になる。コックハンドル取扱上の向きと空気源の方向との関係で左右勝手を使い分ける必要があるが、国鉄では原則として右勝手のものを使用する。

このコックの一種である側穴付アングルコックはアングルコックに側穴付締切コック同様側穴を設けたもので、ホース連結器を解放する場合、締切ることにより先ずホース連結器の空気を排出し、ホースの内圧を除去して連結器の解放を容易にするために使用する。このコックを使用した場合車両の連結端における双方のこのコックを同時に取扱わねばならないので、気動車の元空気だめ管用など特別の場所に使用する。

アングルコックは使用する向きが決まっているから、ハンドルの回転方向が逆向きのものがないかぎり側穴付アングルコックは左勝手だけである。(高桑五六)

かわいけせん 川池線 愛媛県宇摩郡川之江町方面と徳島県三好郡池田町方面とを結ぶ国鉄自動車路線であって、所管する自動車営業所は愛媛県宇摩郡川之江町にある。



### 1 区間・キロ程および沿革

|      |                        |      |           |
|------|------------------------|------|-----------|
| 川池本線 | 川之江・阿波池田               | 32km | 昭9・3・31開業 |
|      | 川之江・伊予三島               | 6    | 昭30・6・1   |
| 三島線  | 上分・伊予三島                | 5    | 昭11・12・1  |
| 新宮線  | 伊予金田・堂成                | 21   | 昭25・5・10  |
|      | 中山口・佐々連                | 19   | 昭29・7・20  |
|      | 伊予新宮・天日                | 8    | 昭28・11・5  |
| 祖谷線  | 三縄・久保                  | 46   | 昭27・9・1   |
|      | 祖谷若林・祖谷小川              | 3    | "         |
|      | (中山口・奥の院間は昭26・11・10開業) |      |           |

2 営業範囲 旅客・手小荷物・貨物および団体貸切の取扱をしている。

3 使命 予讃本線と土讃線との短絡路線としての使命を有するほか沿線地方の産業文化の発展助長を使命としている。

4 特長 奥の院・三角寺ハイキングコースは雄大な草原地帯をとり、頂上からは瀬戸内海の風光を大観し、遙かに